

大洲観光スポットとなる 「富屋金兵衛邸」の開設

支援機関 株式会社 愛媛銀行 支援内容 創業支援 支援区分 創業

株式会社 富屋金兵衛邸

事業者 概要

社名／株式会社 富屋金兵衛邸
代表者名／代表取締役 松本久仁恵
業種／旅館業
所在地／大洲市長浜甲287
資本金／8,000,000円
設立／平成29年4月
従業員数／3名



富屋金兵衛邸

支援に至る経緯

代表取締役 松本久仁恵氏（以下、「松本氏」という）は相続相談で株式会社愛媛銀行長浜支店を訪れた際、当店の掲示されている坂本龍馬の墨画に興味を示された。話を聞いてみると、相続物件は、幕末の志士である吉村虎太郎が幾度も泊まり、坂本龍馬が脱藩のおり四国路の最後の夜を過ごした「富屋金兵衛邸」（以下、「金兵衛邸」という）であった。

また、「金兵衛邸」には幕末当時の多くの古文書等が残されていることから、松本氏は大洲市長浜の観光スポットにしたいとの強い思いを述べられた。そこで、株式会社愛媛銀行ふるさと振興部感性価値創造推進室と営業統括部地方創生チームが中心となり、創業に向けた支援を行うこととなった。

支援内容

松本氏は、坂本龍馬や吉村虎太郎が泊まった「金兵衛邸」を宿泊所に復元するほか、休憩できる茶房や幕末当時の古文書等を展示するギャラリーの設置を希望されていたため、まず、事業の方向性を明確にするため事業計画の作成に取りかかった。

本事業は旅館業、飲食業、地元産品販売、展示ギャラリーの開設等、事業範囲が広範囲で事業費も多額となることから、公益財団法人えひめ産業振興財団（以下、「財団」という）、の「地域密着型ビジネス創出助成事業」への応募を提案・申請し採択された。なお、その助成金を活用することで、平成29年初秋のオープンに向けて順調に準備を進めている。

支援の効果

松本氏が描いていた宿泊所や茶房、展示ギャラリーを詳細にヒアリングし、事業計画書を作成するなかで、短期的に取り組むべきものと中長期でも可能なものに仕分けすることができた。そこで明らかになった課題等は、財団の専門家による支援等も受けながら解決につなげている。

また、今後連携が不可欠な大洲市や全国の龍馬会、JR四国等には計画当初より周知し、新たな観光スポットとして認識してもらうとともに、松本氏は「つながるワイド ほ〜なん」（テレビ愛媛）に出演するほか、愛媛龍馬の会や長浜町商工会の会合に積極的に参加して、「金兵衛邸」の認知度アップにつなげている。

今後の展開

大洲市や長浜町商工会、JR四国等の協力を得て、国の重要文化財「長浜大橋」と国の有形文化財「旧末永家住宅」に加え、幕末の時代を感じる「金兵衛邸」を回遊できる新たなイベントを検討する。また、茶房を利用したランチの提供や茶道サークルなどを開催して、「金兵衛邸」を地元の方々が気軽に集える場所にしたいと考えている。なお、引き続き大洲市博物館の協力を得て、未整理のまま納戸に保管している幕末当時の多くの古文書等の整理に取り組み、展示ギャラリーの所蔵品を増やすことをめざしている。

事業者の声

私が生まれ育った実家を150年前の幕末時代を感じさせる「富屋金兵衛邸」に蘇らせるため、愛媛銀行を始め多くの方々にご支援いただきました。これからは、坂本龍馬が脱藩のおり四国最後の夜を過ごした「金兵衛邸」を後世まで残し、長浜大橋や旧末永家住宅とともに、大洲市長浜の観光に微力ではありますが尽力していきたいと考えております。



代表取締役 松本久仁恵

支援者の声

松本氏が実家を再生して自ら創業し、大洲市長浜の活性化につなげようとする姿勢には頭が下がる思いです。また、ご心配のひとつの事業承継も道筋が見えたとのことでひと安心いたしました。龍馬が泊まった「富屋金兵衛邸」の創業に関われたことを感謝するとともに、末永く大洲市長浜の観光スポットとなることを期待しております。



愛媛銀行 佐伯 俊一